

安全文化の構築

社員の安全意識のさらなる高揚を目指して、「安全啓発室」のリニューアルや、専門家・ベテラン社員による講演会、鉄道部門以外の社員を対象とした安全講習会などを開催しています。

11 住み続けられる
まちづくりを



安全啓発室

過去の鉄道事故やインシデントについて、デジタルサイネージを活用し、事故の経緯や原因などを学ぶことができます。

鉄道事故の悲惨さを実感することで、一人ひとりが考え、行動につなげることを目指しています。乗務員養成教育や新入社員教育をはじめ、各種教育・訓練に活用することで社員の安全意識のさらなる高揚を図っています。



最新の事故・災害事例を用いた教育



デジタルサイネージを用いた教育



受講後に「安全に向けた誓い」を記入したカードを提出

安全講演会

安全意識の高揚を目的として、毎年開催しています。2019年度は、西日本旅客鉄道株式会社 常務技術理事 安全研究所長の河合 篤氏をお招きし、「鉄道の安全とヒューマンファクター」をテーマにご講演いただきました。



河合 篤氏によるご講演の様子

topics

■ 安全啓発室のリニューアル

デジタルサイネージに最新の事故事例を追加するとともに過去の自然災害やテロ対策のコーナーを新設しました。また教育映像に当社の安全アドバイザーである立教大学名誉教授 芳賀 繁氏からの「鉄道の安全と安心」についてのメッセージを収録しました。2019年11月からの新カリキュラムによる社員教育に活用しています。



安全アドバイザーからのメッセージ



変電所火災の機器の展示

小集団活動発表会

毎年、各職場で取り組んでいる安全性向上や業務改善活動の発表会を開催し、社員の改善意欲を高揚させながら、業務の継続的改善を行っています。



職場の代表者による発表



部門内で情報を共有するためのポスター

鉄道安全川柳

安全への取り組みや思いを広く伝えるものを全社員から川柳形式で募集、入賞作品をポスター化しています。



入選作品を紹介するポスター

京王失敗学会

当社のベテラン社員やOBが、過去に体験した事故やヒヤリ・ハット、またそこから学んだ教訓を自ら語ることで、後輩社員に安全文化を伝承するとともに、失敗情報についてオープンに話し合う講演会「京王失敗学会」を開催しています。



OBによる失敗体験の発表の様子

鉄道部門以外の社員への働きかけ

大規模な災害や事故が発生した場合に、鉄道部門以外の社員が駅などでお客様のご案内を行う体制を整備しています。「応援者活動用ワッペン」「応援者対応ツール」などを使用した応援方法のガイダンスを実施しているほか、グループ会社も含めた安全講習会を定期的で開催しています。



鉄道教習所での安全講習会の様子